

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">海外研修 B</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部全学科 1 回生 教育教福 1 回生 人間人社 1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">高村 博正</p>
<p>授業テーマ</p> <p>主に米国ペンシルバニア州のモラビアン大学研修と、他の姉妹校提携の大学教育機関での研修プログラム実習</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>①英語を道具として使える日本人学生を育成する ②国際的なセンスをもったコミュニケーション方法を実習する ③現地での幼稚園・小学校・日本語学校等での幼児教育実習の準備・復習・総括をする。 現地での研修はすべて英語。国内でのすべての授業と実習は日英両語で行う。</p>		
<p>評価方法</p> <p>準備研修のパフォーマンスと、現地教育機関での評価を基礎にして、全体的なコミュニケーション能力と専門性を評価する。出席と発表の回数と内容を重視する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>『これだ!!留学必携ハンドブック』(本学図書館に所蔵あり。各自での購入不要)</p>	<p>編著者</p> <p>高村博正/T・ハヤシ</p>	<p>出版社</p> <p>ふくろう出版</p>
<p>参考書</p> <p>授業中・研修中に適宜指示する。</p>		
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>大きく分けて 3 部から成る：</p> <p>(1)</p> <p>1. 入門講義 2. 自己紹介とその録画と討論 3. 先輩学生 (留学経験者) の話と討論</p> <p>(2)</p> <p>4. 基礎英語力判定テストと自己診断 5. 英語と日本語の差異について討論 6. 日本文化の英語による紹介</p> <p>(3)</p> <p>7. 模擬授業と体験学習 8. 現地教育機関 (例：小学校および幼稚園) での模擬授業デモ 9. コミュニケーションを効果的に行うには (学生プレゼンテーション)</p> <p>10. ～20. は現地研修の成果を発表・討論・合評等を行う。</p> <p>【訓練項目】</p> <p>①発音クリニック ②Free Quick Writing ③図解式英会話訓練 ④英語プレゼンテーションの方法 ⑤英語インタビュー訓練 ⑥自己紹介作成と訓練と録画 ⑦手遊び・折り紙・日本のゲーム紹介 ⑧日本文化紹介 ⑨相手国の文化の理解</p>		